

第2984回 例会 令和7年12月18日(木)

出席委員会委員長	山下 民義
会員総数	19名
本日の出席者(免除者)	12名(2名)
本日の出席率	66.6%

会長あいさつ

会長 神谷 林 君

昨日はKIRARARCと合同のゴルフでした。KIRARARCさんは6名の参加で、他よりいろいろな方に参加していただきました。

本日の卓話者はフロンティア西尾の高橋健太郎様です。補助金事業の時に愛知こどもの国で、汽車に通常500円のところ無料で乗せていただきました。スケートリンクは先週の土曜日から始まっているそうです。

先ほど皆さんに私の線虫検査の結果を配りました。お金を払ったわりに、検査の数値が曖昧で結局は再受診を促されました。結局はPET検診や脳ドックがよいと思いました。最終的には、病気による苦痛を避けて、早期発見を通じて「老衰」という理想的な最期を目指したいと思います。

今週のスマイル

親睦委員長 早川比呂太 君

神谷 林君 高橋さんの卓話楽しみに聞かせてもらいます。

尾崎三枝子君 昨日のゴルフコンペ、参加された方ありがとうございました。

鳥居萬里君 顔出しパネルではお世話になりました。よろしくお願いします。

渡邊 徹君 昨日のゴルフは楽しかったですね。藤井幹事さすがです。今後もよろしくお願いします。

山下民義君/藤井知明君/久米健史君/池田宣明君

早川比呂太君

9件 14,000円

本日の卓話

「アートの思考の重要性について」

特定非営利活動法人フロンティア西尾
高橋健太郎 様

私は西尾市出身の40歳で、西尾商店街の店主をモチーフにした【おじさんのオブジェ】を2人で8体作成しました。西尾市の観光マスコットキャラクター「まーちゃ」は先輩がオブジェを作り、私が二次元化しました。現在は「愛知こどもの国」に勤務し、施設管理やイベント企画、土木作業など多岐にわたる業務に携わっています。

現代の不確実な時代において、固定観念にとらわれず自分の内面から湧き上がる独自の視点で新たな価値を生み出す「アート思考」が極めて重要であると思っています。ロジカル思考との違いとして 論理性を重視



するロジカル思考に対し、アート思考は自由な発想を重視しています。デザイン思考との違いは、デザイン思考が「ユーザー(顧客)起点」の客観的な視点であるの

に対し、アート思考は「自分自身」の主観的な視点を起点とします。ロジカル思考との違いは、論理性を重視するロジカル思考に対し、アート思考は自由な発想を重視します。

アート思考を実践するためのポイントです。

1. 自分なりの興味や疑問に気づくこと。
2. 自分の考えを深掘りすること。
3. 自分の答えを客観的に見直すこと。

現在、教育の分野では、従来のSTEM(科学・技術・工学・数学)にArt(アート)を加えた「STEAM教育」が注目されています。

アートの役割ですが、答えのない問題に対して自分なりのアプローチをする能力や、論理的思考と感性を融合させた創造性を育みます。感性を磨く方法は絵画や音楽だけでなく、読書や俳句、ダンス、プログラミングなど、五感を刺激するあらゆる体験が含まれます。過去のデータに基づくAIには不可能な「自ら想像し発想する力」を養うことが、これからの子供たちや現代社会には不可欠です。

Steam教育のアート分野で身につけたい力です。

1. 自由な発想力また表現力
 2. 自分の考えを伝える
 3. 人口知能にはない人口知能には不可能な想像力
- 感性を磨くことが1番重要です。

これからの現代社会において自由で柔軟な発想力、想像力、自己表現力やプレゼンテーション能力など様々な能力が求められると思っております。感性を磨くことでその分野、学びや経験がより生かされると僕は信じております。ぜひアートの思考のプロセスを取り入れていただき、皆様の今後ますますのご活躍を願っております。

～質疑応答～

講演後の質疑応答では、まーちゃや西尾市内に設置されたオブジェが今も地域の人々や観光客(特に外国人)に親しまれている様子が語られました。また、当時の制作費や、西尾市を代表する彫刻家・山本眞輔氏との交流についても触れられ、アートを通じた地域貢献の重要性が再確認されました。

今週の献立

【キャンドル】

